

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。ある日、おばあさんが川で洗濯をしていると、大きな桃が流れてきました。その桃を持ち帰り、2人で割ってみると、なんと、中から元気な男の子が生まれました。ありませんか！？

おじいさんとおばあさんはその赤ん坊に「桃太郎」と名付け、大事に育てました。

やがて成長した桃太郎は、鬼ヶ島の鬼がく々を苦しめていることを知り、鬼退治に出発することを決意しました。



おじいさんとおばあさんからもらったキビダンゴを持ち、道中でそれをイヌ、サル、キジに分け与えて家来に従えようと、鬼ヶ島に向かったのです。

鬼ヶ島ではイヌ、サル、キジの活躍もあり、桃太郎は見事に勝利を収めました。



そして鬼が奪っていた財宝を持ち帰り、おじいさん、おばあさんと一緒に幸せに暮らしましたとさ。

めでたしめでたし。



日本の昔ばなしシリーズ

桃太郎の湯

ももたろう

桃の香りのしっとりお風呂

今回のお話は **岡山県**

「桃太郎」誕生の地は、岡山県と言われている。岡山県は桃の産地としても有名です。また、果の花は桃の花、果の鳥はキジに設定されていることから、桃太郎ゆかりの県と言えます。

